

上越地域高齢者協議会 たっしやで上越の輪

会報第5号

★発行 2016年5月15日
★発行人 会長 村山 尚祥
★事務局 上越市西本町1-1-38
(総合生協会館内一連合上越内)
☎025-544-0550

「連合新潟上越地域高齢者協議会」名称変更へ！

- 上越高齢協では9月の定期総会までに名称変更について協議していきます。会員の皆さんからも、良い名称がありましたら是非ともご提案ください。

【変更至った状況】

県・高齢協は7月の定期総会において「…高齢協」の名称の変更を提案しています。【新潟県退職者連合】を予定していますが、
他団体と重複していないか検討中！

- ① 60歳代の退職者「高齢者」という呼称は、違和感がある。
- ② 「日本高齢・退職者連合」は「日本退職者連合」に改称した。
- ③ 他の地方連合も順次 改称 を行っていること。

- 地域高齢協においても、県・高齢協で決定した後に「…地域高齢者協議会」の名称について協議することとなります。(変更に伴う費用は県・高齢協で交付)



住み慣れた地域で=ふるさとで

自分らしい人生を最後まで！

☆ 「地域包括ケアシステム」の構築や、段階世代が75歳ころにピークとなる「超・高齢化社会」を控えて、私たち退職・高齢者の暮らしの環境づくりは、国、市政にとって『少子化。人口減少』と同じく『最重要課題』です。

上越高齢協では、今回に市議選で「連合推薦当選者4名」を軸に、市政の課題に取り組む定期的な話し合い（協議会なども）をもって取り組む予定です。
(県・高齢協としても、全県で取り組みたいとしています。)

市議会議員と
連携で

上越高齢協は「新潟県労働者福祉協議会」の会員です！

仕事や暮らしのこと 解らないこと、困った時には
いつでも、ご相談・問い合わせ ください！ 連合・上越 ☎544-0550

1. 連合・新潟(及び連合・上越)は！「無料相談」を受けてます！

平成28年度

「介護保険事業に関する要請書」

を提出し

【内容は多岐にわたっています。詳細は幹事会で資料とともに説明してありますので、お聞きになってください。ごく一部を紹介します。】

① 1月13日 上越市より「回答書」をいただき、
1月27日「市・担当者と懇談」を行いました

質問

◆「医療、介護、予防、住まい、生活支援」で、不足しているサービスは何か。解消策は？

回答

●現時点で不足しているサービスは「生活支援」であると認識しています。



[高齢協の評価]

- 生活支援サービスは「新総合事業」では「その他のサービス」に位置付けられている。民間の事業で実施されているものもあるが、全市をカバーしていない。
- 市長は議会で「住民組織や社会福祉協議会の会議に、地域で支援活動している団体、関係機関、ボランティア組織の参加を求めます。」と答弁されている。「重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続ける」ことができる体制づくりは、多くの課題がある。これからの注視したい。

質問

◆市は特養入所申込者の中から「入所の必要のない者」を選別している。どのように確認し、どう対応しているのか。

回答

●ケアマネジャーおよび家族・介護者への調査によるものです。



[高齢協の評価]

- 市の「第6期計画策定」で、入所申込者四分類の内『入所緊急型』が入所できるように施設整備を行う。つまり「入所申込者の全員分は施設整備しない」とのようだが、選別が的確、公平かどうか。民営である各施設の都合で「入所できない＝入所させない」などが生じていないか注視していきたい。

② 2月17日 妙高市より「回答書」
をいただき、「市・担当者と懇談」を行いました



[高齢協の全体的な評価]

- 妙高市は、人口減少、超高齢化を迎えているが、さらに近い将来には「高齢者人口の減少」が予測され「長期間の使用と多額な施設維持費」を前提とする特養などの施設整備には慎重である。



- 地域が広く、過疎、豪雪などの条件に『地域包括システムの構築』には、国の指示に対して受け身の姿勢がみられた。一方、小回りの効いた体制をとっている。



アーンして おかしラブラブ いま介護

シルバー
川柳より



**高齢者が
生きいきと！
牧田 正樹**

市議選では、大きなご支援をいただき、大変ありがとうございました。

私はこの選挙戦で、「子どもや高齢者、障がい者など誰でも安心していきいきと暮らせる上越市」にしたいと訴えてまいりました。

これまでの労働運動の経験を活かし、市民に寄り添いながら市政のチェックと提言を行ってまいります。

☆ 厚生 常任委員会 委員

**まちづくりの
即戦力として
栗田 英明**



このたびの市議選では大変お世話になりました。ありがとうございました。

私は4期目の当選ですが、これまで手掛けてきた新しい「上越のまちづくりの手法」をしっかりと確立していきたいと思います。

まちづくりは人づくりです。高齢協会員の皆様にもご協力をいただき、将来を見据えたまちづくりをします。

☆ 総務 常任委員会 副委員長

連合上越 推薦の市議会議員4名 からのメッセージ



**働く人の声
先輩達の声
田中 聡**

この度は市議会議員として2期目の任期を頂きましたこと心から感謝申し上げます。これまで、上越市議会の中では最年少議員として、現役の働く皆様の声や子育て世代の要望実現にむけて取り組んでまいりました。

この度の選挙を通じ、上越市を支えていただいた先輩方の要望を多く頂戴しましたので全力で取り組んでまいります。

☆ 厚生 常任委員会 委員

**健康、長生き
社会の課題**



小竹 俊之

このたびは、多大なるご支援をいただき本当にありがとうございました。

誰もが心身ともに健康で長生きすること。このことは皆さまだけでなく、社会にとっても重要なことであると考えます。

38歳といえば一般的には中堅どころですが、皆さまから見ればまだまだ若輩者です。今後ともご指導のほどよろしくお願ひいたします。

☆ 文教経済 常任委員会 委員

自治労上越市退職者会

- ★運営委員長 宮越 保夫 他 役員 5名
- ★会員数 59名
- ★結成 昭和24年6月
(組織再結成)

【主な活動】

- ◎ 総会&懇談会(年1回)、運営委員会
- ◎ 広報活動 自治労中央本部発行
上越高齢協の機関紙 送付
- ◎ 交流活動=自治労中央本部 及び
自治労東北地連主催の
集会参加 など

健康で健やかに

現役世代は一つの組合組織になったものの、14市町村での合併ということや、年金受給年齢の繰り延べにより、定年退職後での再雇用者(再任用)の増加などがあり、退職者会への加入者は、なかなか思うようにいきません。総会では、保健師さんからお話しを聞く機会を設ける等、会員が元気で健やかに生活が送れるよう活動を続けています。



JAM大島農機支部高齢者協議会

(略称=JAM 大島農機シニアクラブ)

- ★会長 伊藤 聖司 他役員・7名
- ★会員数 62名(2016.2.14現在)
- ★結成 昭和54年7月15日

【主な活動】

- ◎ JAM 新潟クラブ、及び
上越高齢協 の活動に参加
- ◎ 「会報」=『高退協だより』
年2回発行・現在136号
- ◎ 親睦活動=「新年会・交流会」
「定期総会・懇親会」

一人でも多くの
参加を呼びかけて

◆ 私たちの会が結成されてまもなく満40年の節目を迎えようとしています。現在の会員の最高齢は85歳、最も若い会員の61歳と比べると24歳の開きがあります。活動としては、例年2月初旬の「新年会」と7月に開催する「総会・懇親会」が二大イベントで、会員相互の交流を図り、親睦を深めています。今後、この活動を軸に一人でも多くの仲間の加入を呼びかけ、会の発展を期していきたいと考えています。



【編集後記】上越市議選では、改選後は新人も多くなり、市政の活性化につながる事が期待されます。投票率が下がっているのが気になります。参議院選挙から18歳以上が選挙に参加しますが、投票率も含めてどんな影響がでるのか？見当もつきません。私たちの先輩から護り続けてきた「平和憲法」の評価が試されていくのでしょうか！ 私たち現役高齢者も『暮らしと平和』を守り抜くよう“声”を大にしなければ・・・と念じながら不慣れな会報の編集に苦勞しています。ご意見、話題などお知らせください！ (N. M)